

平成 22 年 2 月 12 日

各 位

会社名 株式会社日本一ソフトウェア
代表者名 代表取締役会長 北角 浩一
(JASDAQ・コード番号：3851)
問合わせ先
役職・氏名 取締役管理部長 世古 哲久
電 話 058-371-7275

来期（平成 23 年 3 月期）の方針に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 2 月 5 日公表の『特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ』の中で、当期（平成 22 年 3 月期）の業績予想について大幅な修正をいたしました。今回の状況を踏まえ来期（平成 23 年 3 月期）の方針についてお知らせいたします。

記

1. 当期業績に至る要因及び基本的改善事項

当社は当期（平成 22 年 3 月期）の連結通期業績予想を売上高 1,891 百万円（前期比 8.8%減）、営業損失 268 百万円（前期は 166 百万円の営業利益）、経常損失 259 百万円（前期は 155 百万円の経常利益）、当期純損失 358 百万円（前期は 65 百万円の当期純損失）を見込んでおります。

当期業績に至る要因及び基本的改善事項については以下のとおりと考えております。

① 市場分析に関する事項

当期につきましては、各プロジェクトの当初計画段階において市場環境等の分析の精度、計画本数の見積もりの違い等があったものと考えております。

改善事項として、現在の市場環境を勘案し、販売計画を保守的に見積もった上で、リスク要因等を精査し、その上で収益の見込めるプロジェクトを開始すると共に、制作過程でのプロジェクトの進捗状況を管理し、品質等の向上ができる体制を整備いたします。

② 経営資源の配分に関する事項

当期につきましては、発売タイトル数を新作タイトル 16 タイトル（うち新作オリジナルタイトル 11 タイトル）、廉価版等を 5 タイトルあわせて計 21 タイトルの販売を予定してまいりましたが、発売タイトル数の急増により品質の低下をまねいたものと考えております。

改善事項として、来期は新作タイトル 8 タイトル（うち新作オリジナルタイトル 6 タイトル）、廉価版等 1 タイトルあわせて計 9 タイトル程に厳選し、開発及び営業人員等の経営資源を主力タイトルに集中し、品質と販売力の向上を図ってまいります。

③ 海外戦略に関する事項

当期につきましては PlayStation®Portable 向けタイトルに発売を集中し、国内市場での当社ユーザーが集中しているプラットフォームへのタイトル投入に注力してまいりました。しかし、現状の海外市場において、当期国内市場で多く発売した PlayStation®Portable 向けタイトルの販売が非常に厳しい市場環境となっており、海外市場での当社タイトルの発売及び収益化が難し

い状況となっております。

改善事項といたしましては、来期以降は、海外市場も視野に入れたプラットフォームの選択を必須事項とし、変化の激しい市場環境に対応できるようプラットフォームの偏りを解消し、スピーディで柔軟な対応のできる開発体制を整備いたします。

2. 来期の方針について

上記事項を早期に実施し、来期（平成 23 年 3 月期）においては、業績の大幅な回復を実現すべく、下記の項目を重点項目として注力いたします。

- ① 当社代表作である『魔界戦記ディスガイア』シリーズ最新作の投入
- ② PlayStation®3 を主として海外市場における当社タイトルの販売増加
- ③ モバイル事業の売上及び利益の増加

当社主力事業であるコンシューマ事業におきましては、来期の発売タイトルとして、当社代表作である『魔界戦記ディスガイア』シリーズの最新作を PlayStation®3 にて発売するとともにメディアミックス、コラボレーション等を展開し、売上及び利益の安定化及びブランド力の向上を図ります。

その他のタイトルにつきましても、上記改善事項にありますようにタイトルを厳選し、開発及び営業人員を集中し、品質及び販売力の向上を図ってまいります。

来期につきましては、『魔界戦記ディスガイア』シリーズの最新作を筆頭に新作タイトル 8 タイトル（うち新作オリジナルタイトル 6 タイトル）、廉価版等 1 タイトル併せて 9 タイトル程に厳選し、各タイトルの品質の向上を図ってまいります。また中期的に信頼回復・ファンの拡大につながるラインナップを揃えてまいります。

海外市場におきましては、北米を中心に現在のところ販売本数が安定的に見込める PlayStation®3 を中心に、国内での当社発売タイトルを厳選し、海外市場に投入してまいります。

モバイル事業につきましては、改めて注力を図り、インターネット上のコミュニケーションサービスであるソーシャルネットワークキングサービス等、多種多様な広がりを見せているモバイル市場において、当社として注力すべき箇所に有効なコンテンツを投入し、収益源の再構築・顧客満足度の向上を図り、売上及び利益の増加を図ってまいります。

多くのステークホルダーの皆様からの信頼を取り戻すと共に、来期業績の大幅な回復を実現すべく当社一丸となって業務を推進してまいります。

（注）上記予想及び将来に関する事項は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

以上